

# 櫻井宏二郎 経済学部教授

## 新二部学生部長に聞く

二部学生部長に櫻井宏二郎経済学部教授が4月1日に就任した(任期は1年間)。櫻井教授に仕事と勉学を両立させる学生への期待などをお聞きした。

「1クラス約80人と一部に比べて少人数なので、教員が質問に丁寧に答えてくれる。授業で必要とされている知識を身につける環境です。」  
二部の魅力は多様性です。20歳前後の人、中堅の社会人、シルバード世代の方、高大連携の高校生が交じることもありません。年齢も経験も仕事もさまざま、仕事で必要な経済や金融を学びたい人もいれば、哲学や思想など生きていく指針を求めたい人もいます。向学心の高い多様な人との交流が刺激となり、新しい自己

を築くのが二部といえます。大学は「学ぶことを学ぶ」場です。知的厳正性という言葉があります。大学で学ぶのは社会で役に立つノウハウではなく、他人の意見に耳を傾け、正しいことを正しいと認め、時に自分の考えを改める素直さです。社会に対しておかし

いと思うことにはおかしさを感じ、自分が間違っていたと気づけば謙虚に認める。そうした柔軟さは、専門分野を深く勉強する過程で仲間や教員と議論しながら身につけていくものです。私自身、26年間政府系金融機関に勤めていたのですが、働きながら大学で勉強する大変さはわかりま

仕事と勉強のバランスをとってほしい。消耗してしまわないようメリハリをつけることは大事です。仕事の都合や体調の問題で授業を欠席せざるを得ない場合も、ノートを貸し借りできる仲間がいます。2部の授業は1日2コマなので仲間と一緒にいる時間は少ないが、なるべく友達をつくり融通し合うことも必要です。

入学試験の結果を見ても二部を目指す学生には非常に優秀な人がいます。大学での学びは長い人生をより良く生きるための糧。二部を卒業した後、専修大学の大学院に進み、そこからさらに専門的な大学院に進学している人もいます。社会人として社会に貢献するというのが専修大学の建学の精神ですが、それと同時に学びを通してより豊かな人生を送ってほしいと思います。

一橋大学経済学部卒業。同博士(経済学)。日本政策投資銀行勤務を経て、2007年より専修大学経済学部教授。担当は、日本経済論、経済政策。宮城県仙台市出身。趣味は食歩き。

# 多様な人との交流で 新たな自己をつくる

## 学びを通じた豊かな人生を

7年ほど前から一部と二部で同じ「日本経済論」という講義を担当しています。二部の学生は熱心で、高度な質問も多

「経済思想のリコンストラクション」市民社会・世界資本主義・貨幣・経済発展・自己責任

「知のツールボックス」新入生の学びを助けるためのツールボックス

「新入生援助集」フレッシュマンおたすけしゅう」と名付けられた同書は、大学での勉強の仕方を解説し、新入生の戸惑いを解消しようと、専修大学出版企画委員会が編集・刊行。全7章構成で、ノートの取り方や文章の読み方、レポートの書き方やプレゼンテーションの方法などが丁寧に説明されている。

巻末には、実践編として「知のワークブック」を添付。ステップ1から3までの段階を踏みながら、大学の勉強方法を自ら



を築くのが二部といえます。大学は「学ぶことを学ぶ」場です。知的厳正性という言葉があります。大学で学ぶのは社会で役に立つノウハウではなく、他人の意見に耳を傾け、正しいことを正しいと認め、時に自分の考えを改める素直さです。社会に対しておかし

いと思うことにはおかしさを感じ、自分が間違っていたと気づけば謙虚に認める。そうした柔軟さは、専門分野を深く勉強する過程で仲間や教員と議論しながら身につけていくものです。私自身、26年間政府系金融機関に勤めていたのですが、働きながら大学で勉強する大変さはわかりま

仕事と勉強のバランスをとってほしい。消耗してしまわないようメリハリをつけることは大事です。仕事の都合や体調の問題で授業を欠席せざるを得ない場合も、ノートを貸し借りできる仲間がいます。2部の授業は1日2コマなので仲間と一緒にいる時間は少ないが、なるべく友達をつくり融通し合うことも必要です。

入学試験の結果を見ても二部を目指す学生には非常に優秀な人がいます。大学での学びは長い人生をより良く生きるための糧。二部を卒業した後、専修大学の大学院に進み、そこからさらに専門的な大学院に進学している人もいます。社会人として社会に貢献するというのが専修大学の建学の精神ですが、それと同時に学びを通してより豊かな人生を送ってほしいと思います。

一橋大学経済学部卒業。同博士(経済学)。日本政策投資銀行勤務を経て、2007年より専修大学経済学部教授。担当は、日本経済論、経済政策。宮城県仙台市出身。趣味は食歩き。

「経済思想のリコンストラクション」市民社会・世界資本主義・貨幣・経済発展・自己責任

「知のツールボックス」新入生の学びを助けるためのツールボックス

「新入生援助集」フレッシュマンおたすけしゅう」と名付けられた同書は、大学での勉強の仕方を解説し、新入生の戸惑いを解消しようと、専修大学出版企画委員会が編集・刊行。全7章構成で、ノートの取り方や文章の読み方、レポートの書き方やプレゼンテーションの方法などが丁寧に説明されている。

# 経営学部からの『知の発信』

## 本学ホームページで公開

経営学部は、「専修大学経営学部50年」と今後の50年に向けて、「知の発信」を大学公式ホームページで公開している。この企画は経営学部創立50周年記念事業の一環で次の3点を紹介している。

①創立50周年記念講演・研究のあり方を展望

②各講演について経営学部教員5人が学術的観点から解説

③今後50年の学部教育のあり方を展望

講演者は▽黒岩彰氏(昭59商工富士急行(株)ケート部監督)▽森田隼人氏(平12経営シヤボン玉石けん(株)社長)▽五十嵐豪氏(平20経営料理解研究者・(株)フードクリエィティブファクトリー代表取締役)

このほか、経営学部では50周年記念基金(教育研究振興協力資金)を用いた学生支援事業を行っている。近日中に3年度の実績報告・評価を公開する予定。

経営学部からの「知の発信」

経営学部からの「知の発信」

経営学部からの「知の発信」

経営学部からの「知の発信」

公開講座情報

経済学部経済学科公開講座

「経済思想のリコンストラクション」

「知のツールボックス」

「新入生援助集」

改訂版 知のツールボックスを配布

「知のツールボックス」

「新入生援助集」

「知のツールボックス」

「新入生援助集」

森下健三氏(もりしたけんぞう) 名誉教授・元経済学部教授

3月27日、83歳で死去。1959年から在職。2001年定年退職。主な担当は経済原論。

中西泰夫著

イノベーションの計量経済分析

イノベーション(技術革新)が企業の市場競争にどのような役割を果たしているか、実証的に明らかにする。本書で取り上げるのは、生産技術の効率化のようなコストリダクション型のイノベーションだ。企業のイノベーションは、ミクロ経済学

希望の方は左記にお問い合わせください。

【神田キャンパス】03-3265-6677

【生田キャンパス】00-44-911-0794

http://www.senshu-u.ac.jp/admiss\_info.html

専修大学

# 新しい本

ベーシック経済政策(第2版)

山田節夫著

経済学の予備知識がなくても理解できるように執筆された入門書。経済問題が生じる根本原因を理解し、解決する政策を考えるための基礎的な経済学の知識を、丁寧にフランスでよく解説する。初版は民主党政権だった2010年10月に出版。3年余たち、制度変更に伴う記述内容の刷新や、新たに生じた主題を加筆した。「テクニカルノート」として補足された項目は、第1章の経済政策における「消費税率と税収総額」から、第8章の医療サービスにおける「混合方式」まで21に上る。(同文館出版・本体2700円+税)

イノベーションの計量経済分析

中西泰夫著

イノベーション(技術革新)が企業の市場競争にどのような役割を果たしているか、実証的に明らかにする。本書で取り上げるのは、生産技術の効率化のようなコストリダクション型のイノベーションだ。企業のイノベーションは、ミクロ経済学

MIZUHO 三井住友銀行 LEAD THE VALUE SMFG